



夢高

フォトニュース

No.

99



* 地域と共に知恵と勇気を育む *

長野県蓼科高等学校

令和2年3月12日 発行

令和元年度 卒業証書授与式 挙行される

令和になって初めてとなった今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染症対応のため、卒業生と教職員、一部在校生のみでの挙行となりました。

このような異例な形の式となりましたが、今年の卒業生は動揺する様子もなく、落ち着いた様子で式に臨みました。その姿は、大変たくましく、新しい人生への力強い一歩を踏み出したことを感じさせるものでした。

残念ながらご出席頂けなかった保護者の皆さま、またご来賓も含め日頃より多大なるご支援ご協力を頂いております地域の皆さまに、その姿を少しでも感じて頂きたく、卒業生代表大塚翔太さん(前生徒会長)の答辞、宮澤彩乃さん(前生徒会副会長)からの記念品贈呈(折りたたみテント)、在校生代表依田佳音里さん(現生徒会副会長)の送辞など、卒業式の様子をご紹介します。

「卒業生代表 答辞」

暖冬といわれた中にも、厳しい寒さが感じられた日々も落ち着き、穏やかな春の訪れが感じられる季節になりました。

新型コロナウイルスの関係で、一時は式自体も危ぶまれた本日の卒業式ですが、困難な中、出来る中で最大の、素敵な卒業式を開いていただき、ありがとうございます。先ほど校長先生や在校生から頂きました心温まるご祝辞を胸に、本日私たちは卒業します。

蓼科高校に入学してから、はや三年。思い返せば様々なことがありました。これから始まる高校生活に胸を膨らませ、そして良い意味でも悪い意味でも、理想と現実のギャップに打ち砕かれた高校一年生一学期。高校生活初の文化祭では、ステージの上に立ち、大勢の前で堂々と司会進行をしていく先輩方に尊敬の念を抱いていました。二年後の文化祭で、まさか私自身がそのステージに立ち、「ガイダンスをぶっ壊す」という映像を作り、先頭に立っていることなど、思いもしませんでした。

生徒会長をはじめ普段の学校生活も、楽しい思い出だけでなく、様々な事で悩み、辛く苦しいこともたくさんありました。

そんな時に支えてくれたのは、友達や先生方でした。学校に来れば多くの人がいて様々な方面から支えてくれる、これがあったからこそ、辛いことがあっても楽しい思い出で本日を迎えることが出来たのだと思います。学校で私に関わって頂いた方々に、この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

そして何よりも、最も感謝を伝えなければならないのは、家族です。本日この場に來られないことが悔しくもありますが、順調とは言えなかった中学生の時から、私のことを一番に考え、暖かく見守ってくれました。そのお陰で、蓼科高校で楽しい三年間を過ごし、本日の卒業式の場に立つことができました。家に帰ったら真っ先に、三年間の気持ちと、十八年間の気持ちを込めて、感謝を伝えたいと思います。

在校生の皆さんは、これからも一生懸命に楽しい思い出を作り、何かあれば自分の周りを見つめるようにしてください。きっと頼れる人がそこにはいます。

最後になりましたが、本日までお世話になりました、校長先生をはじめとする先生方、友人、在校生の皆さん、そして誰よりも家族に改めて感謝するとともに、蓼科高校の更なる発展を、卒業生一同、心よりお祈り申し上げ、答辞と致します。



令和二年三月三日

卒業生代表 大塚 翔太



卒業生入場



送辞

「在校生代表 送辞」

蓼科山の雪もとけはじめ、春の訪れを感じられるこの佳き日に、蓼科高校を卒業される三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

この日を迎え、今、皆様の心の中には、この蓼科高校での様々な思い出が浮かんではいるのではないのでしょうか。

先輩方は、クラスマッチや部活動など様々な場面で、常に私たち後輩のお手本となり、私たちを導いてくださいました。その中で特に私の心に残っているのはポプラ祭です。私たちが楽しめるようにと工夫を凝らしてくださったオープニング。美しいハーモニーを聴かせてくださった合唱祭。一般公開や後夜祭での生き生きした姿。

「Moment ～この瞬間を大切に～」というテーマのもと、一瞬一瞬を大切に、ポプラ祭を成功させようと、力を合わせていた先輩方は、本当に素敵でした。

これからは、私たちが先輩方と同じように後輩のお手本となり、受け継いでこられた素晴らしい伝統をしっかりと継承すると共に、よりよい学校にしていくことを誓います。

この先、それぞれの人生を歩んでいかれる中で、様々な困難や壁にぶつかる事もあると思います。しかし先輩方ならば、この蓼科高校で培った「自主の意気」があれば、必ず乗り越えていけると信じています。

最後になりましたが、ご卒業を迎えられた先輩方のより一層のご活躍とご健康をお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和二年三月三日

在校生代表 依田 佳音里



卒業証書授与



学校長式辞



記念品贈呈

卒業生皆さんの未来が、幸多からんことを祈ります！

卒業式の日、3年各クラスの黒板には、お祝いのメッセージがありました。いつもは生徒会役員ですが、今年は先生方が心をこめて書きました。



3年1組 HR



3年2組 HR



3年3組 HR